

祇園小学校 校長だより（第22号）

平成30年10月5日

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

前期の成果と課題を後期へ活かす

前期が終了し、本日、通知表「あゆみ」をお渡ししました。学習の様子や生活の様子などから、それぞれの子どもの頑張りを感じ取っていただければと思っています。通知表から得られた、前期の成果と課題を後期に活かしていくことが大切なことだと考えます。

個人面談でお話したことを夏休みに頑張り、それが前期の成績向上につながっていれば幸いです。まだ課題の克服が足りない場合は、3日後の後期から即実践できますので頑張してほしいと思います。

実りの秋、成長の秋

涼しい季節となりました。食欲も増し、バテることなくからだを動かすことも容易となりました。しかし、すぐに寒い冬もやってきます。冬の訪れる前の短い期間ですが、「実りの秋、成長の秋」を子どもたちにも感じさせたいと考えています。

通知表をみて思い立ったことをすぐに実践しないと、あっという間に冬がやってきて縮んでしまうかもしれません。「いつやるんですか?」「今でしょ!」という言葉がはやりましたが、「思い立ったが吉日」の精神で即実践につなげていくようお子さんを励ましていただければと思っています。

後期の目標を掲げ、目標へ向かっていいスタートダッシュができることを期待しています。

祇園歴史の旅（その22）「島地町・塩浜町の由来」

坂田直士著「佐世保の地名は語る」（平成17年出版）によると、「島地町は小字『島ノ地』から、塩浜町はこれまた小字『塩浜』にちなむ地名である。この『塩浜』は寛政年間（1789年～1800年）、山県三郎太夫の手になる広大なもので、塩浜町だけではなく、山県町、万津町、さらに上京・下京の各町にも、この塩浜の一部が入った。」と記載されています。

江戸時代の寛政年間に造られた広大な塩浜が目につくでしょう。